

令和4年度 外部評価委員による評価表

静岡学園中学校・高等学校

【各委員まとめ】

○取り組み自体は熱心に行われており、成果を上げている部門も多いことは賞賛に値する。教職員の努力を称賛したい。
 ○教職員の皆様方が一生懸命に取り組まれている状況は伝わってきましたし、お蔭さまで私自身も学校の考え方や運営方針などの理解が深まっております。コロナ禍で学校の現場も大変なご苦労があったと思いますが、教職員と生徒・ご父兄が一丸となり困難を乗り越えてきたことに改めて敬意を表したいと思います。2023年度も引き続き一丸となって頑張ってください。最後に、目標設定についてですが、数値化可能或いは数値化した方がより共有化できる内容については、出来るだけKPI設定を増やして行くことを検討されたら如何かと提言させていただきます。
 ○各担当者の発言等から、先生方が積極的に学校経営にかかわっている様子がわかります。生徒は毎年異なりますので、指導や手だてに工夫や改善が必要になると思います。また、確実に取組が前に進んでいることを確認しています。ご苦労が多いと思いますが、頑張ってください。
 ○過去開催された本委員会の中で、最も高評価につながる「良く監理された」学校運営された1年間だったように思います。次年度以降は、生徒も教員数も増加しますので、ルール徹底、情報共有など、疎かにならないよう新たな気持ちで再度運営管理に没頭していただきたく存じます。私も同窓会をもっと活性化させ、寄付金の口数を増やしていけるような施策を考えて実行して参りたいと思います。次年度以降も発展していくように微力ながら協力をさせていただきます。
 ○地域住民が学園に対し抱く期待の最も大きなものは、災害時の避難所に関する事だと思っております。学園より様々な情報の提供いただき住民に周知し、安心感、期待感も培われてきていると感じます。これからも地域に開かれた学園として双方の様々な係わりが続くことを願っています。また、生徒が主体となり考え、日本、更に地球規模で環境問題への意識を高めていく取り組みを期待します。
 ○新型コロナウイルス感染症の流行と対策に関して、ようやく出口が見えてきました。この3年間、学校を運用してきた皆様のご苦労はいかばかりだったかと思っております。とはいえ、コロナ禍が終わったから以前に戻るのかということ、そうではありません。コロナ禍の反省も踏まえた、新しい学校運営が求められると思います。世の中の動きをつかむために情報収集に励む一方で、より生徒と向き合っていく姿勢を継続してください▼ポストコロナで重要なのは、IT(情報技術)を使った教育の質向上だと思っております。民間でもDX(デジタルトランスフォーメーション)が叫ばれる中、ITを活用しつつ、その弊害を抑制する取り組みが教育分野にも求められます。校務支援システムが複数種類あるのは気掛かりではありますが、効率化を進めて教員側の負担軽減に努めていただきたいと思います。せっかく取り組んだオンライン授業も状況に応じて活用してください。同時に、世の中はエビデンスやデータが重視されるようになっています。IT化で蓄積した情報を有効活用することも求められると思います▼今後、対話型ソフト「チャットGPT」に代表される生成AI(人工知能)が教育に与える影響が危惧されます。煩雑な業務はAIに任せ、よりクリエイティブな分野に人の頭脳を使うというやり方が理想ですが、ルールが確立していない現在、どうなるかはまだ不透明です。そのうち提出レポートに使い始める生徒も出てくるでしょう。禁止しても地下に潜るだけです。どのような活用方法があるかを研究する必要があると思います▼4月から自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務となりました。県警によると、自転車事故死亡者の7割は頭部への損傷が致命傷になったといわれています。自動車シートベルトの際もそうでしたが、努力義務が義務化される流れは必然でしょう。そもそも義務かどうかという問題以前に、命を守るのに有効な以上、着用を拒む理由はありません。暑い夏は蒸れるため、別の対策が求められますが、積極的に着用を呼び掛ける必要があります▼このほか、「合理的配慮」についても検討や準備が必要になると思います。外見上は普通で勉強ができて、内面は他の子どもとやや変わっている子どもがいるかもしれません。生徒一人一人に寄り添って対応するというお話でしたが、まさしくその通りです。

達成度 A ほぼ達成(8割以上) B 概ね達成(6割以上)
 C 変化の兆し(4割以上) D 不十分(4割未満)

学年 教科 分掌	担当	No.	令和4年度重点目標	委員 評価	外部評価委員の意見及び次年度への提言
学 校	中学部	1	生徒・保護者に信頼される、安全・安心な学びの場を提供する	A	統一した基準に基づいて適切な対応を行っている。目標、達成状況ともに大変よく監理できており、申し分ない。次年度以降も継続に力を注いでほしい。「生徒・保護者に信頼される、安全・安心な学びの場」という目標に対し、目標達成のための具体的事項がやや脆弱な感じを受ける。
		2	将来の静学のリーダーにふさわしい生活習慣と学習習慣を身に付けさせる	A	静学生にとって重要な目標の一つである。具体的な数値目標を掲げた点は大いに評価できる。よく達成されていると思うので、継続して次年度以降も監理願う。中学部全体で将来の高等学校で中核となる生徒の育成に取り組んでいくなか、生活習慣、学習習慣を柱にしていること、的確である。重点目標に沿った取り組みを丁寧に行っていることは評価できるが、英検に関する数値重点目標が達成されたかどうか不明である。
		3	様々な体験を通して、知る・考える・表現することを楽しめる生徒を育成する	B	具体的施策及び計画の(A)に関する取り組みと成果が書かれていないため、重点目標をほぼ達成したとは評価できない。生徒は体験する機会が減っているため、大切な内容項目である。レジリエンス講座やシズクリプロジェクトの拡大による生徒や先生の変容に期待する。充実した内容で、頼もしさを感じる。新たな試み、特徴も私立中学では当然のように先駆けていかねばならないので、高いアンテナをはって創意工夫されることを望む。大いに評価できる内容である。「知る」「考える」「表現する」を楽しめる生徒を育てるという大変崇高な目標ではあるが、是非、追い求めてほしい。
	高校1年	4	授業・家庭学習など基本的な学習習慣を確立し、高校における学習スタイルの基礎を築く。	A	数値で評価しにくい取り組みを丁寧に行っている。また、具体的施策及び計画に示した規準とは一致していないが、模試においても十分な成果を挙げている。入学当初、期待と不安の織り交じった1年生が学校生活に1日も早く慣れ、学習スタイルを確立していくことは重要である。目標、達成状況ともに良く監理できていた。学力分布の幅も広い中よく生徒を成長させていると感じる。
		5	部活動、SGTなど、様々な活動に積極的にチャレンジさせ、それらの経験を通じて総合力の向上を図る。	A	数値化しにくい重点目標であるため、学年部としては達成したと明言できないかもしれないが、教員として向上を実感しているので評価に値すると判断した。高1では前半こそ慣れていなかったように思うが、後半のSGT参加率にあるように全体的にも概ね目的は達成されているように思う。多くの生徒が部活動に所属し、積極的に活動する、あるいは実社会と教科の学習を結びつけ、深い思考と学びに向かう主体的な態度を身につけた点など大変評価できる。
		6	生徒が安心して生活できる環境を整え、学校生活の基礎を確立する。	A	重点目標に沿った取り組みをきちんと実施している。ウ)に関しては、数値重点目標にとらわれず前向きな進路変更を自己評価しているのは好ましいと感じる。一人ひとりに対しての丁寧な対応が伝わり、時代背景と共に増加傾向の心に問題を抱える生徒への対応も寄り添う形ができていよう、大変とは思いますが、「心のふるさと」である静学としての対応を貫いてあげて欲しい。生徒の質の変化(生徒の自己に対する考え方の変化)が起きているとの話。これまでの価値基準、判断基準が通用しなくなっていることを感じた。

年	高校2年	7	探究系では、堅実で能動的な学びを追求させ、早期に進路への展望を持たせる。一般系では、基本に忠実に自らがすべきことに堅実に地道に取り組ませる。	A	学力がついてきていることや、探究学習が活発に行われていることは評価する。ハイレベルな補講、成績上位層の増加、総合的な学習での学びの深化など重点目標に沿った取り組みが行われたと推察できる。達成状況の内容が素晴らしい。
		8	部活動、SGT、ボランティア活動など、様々な活動に積極的にチャレンジするとともに、自ら中心となって活動を企画し、担い、それらの経験を通して人間的な力、総合力の向上を目指す。	A	達成状況の記述が主観的ではあるが、目標が達成されたと認識していることは理解できる。ただし、「最上級生としての活動に期待したい」は状況ではないので、「最上級生としての活動が期待できる」とすべきでは。学校生活の中核、中心となる学年と考えられ、学習の他様々な経験を通して成長が期待される。それを意識した更なる具体的取り組みも期待する。
		9	生徒が安心して生活できる環境を整え、学校生活を一層充実させる。	A	感染症対策が適切に行われ、教育活動に支障をきたさなかったことは高く評価できる。ただし、「安心して生活できる環境」には感染症対策以外も含まれるはずであり、その記載がないのは残念である。Withコロナの中で、かなり施策通りに目標達成できたのではないかと。生徒が主体的に行動し、考えていく何らかの仕掛け、工夫を一年間の中に埋め込んでいけたら良いと思う。転退学者が2年時に出ているということも分析する必要がある。
	高校3年	10	生徒および保護者が安心できる学校生活を提供する。	A	重点目標を完全には達成できなかったものの、困難な課題に対して十分な成果を上げている。受験を控えた生徒が友人を含めた他者に対してどのような思いと、接点を求めているのか、そんな点をも考えながら、サポートして行ってほしい。数値管理できたことが高評価になる。
		11	生徒ひとりひとりの学力を向上させ、進路実現をはかる。	B	数値重点目標に対する達成された数値が記載されていないため、高い評価を与えることは困難である。生徒一人一人の頑張りとそれを支えた先生方の取組やご尽力に敬意を表する。目標の数値管理について、率計上にすれば高評価だったと思うので、次年度以降に取り入れて、数値目標と合格率を併せていくのもいい指標になる。「生徒に真の学力を意識させた」は、テストの平均点上昇、健闘から取り組みの成果の表れと捉えているようだが、そもそも「真の学力を意識させた」過程が不明である。進路実績は、大いに評価できる。
		12	最高学年として範を示す中で、卒業生にふさわしい人間性を磨く。	B	重点目標に沿った指導を心がけていることは理解できるが、その成果が十分に示されていない。成長が目覚ましかった学年だと思ふ。次年度以降に是非とも参考にして上昇気流を継続されることを強く望む。大変重い目標と感じる。3年間あるいは、6年間の教育の成果と、これからの長い人生を生き抜いていく術を少しでも身に付けることができたならと思う。ある委員のお話から、生徒の成長の様子が目に浮かんだ。
事務局	総務課	68	財務状況の改善	A	事業の先送りによる部分は割り引いたとしても、重点目標を上回る結果を出した点は評価できる。財務に関しては、エネルギーの高騰をはじめ、物価高にあえぐ中、粘り強く管理できていると思う。次年度もかなり大変であるが、地道な交渉等、継続した粘り強さを期待している。経費節約は大事であるが、必要などころにはしっかり予算配分するようにしたい。
		69	施設・設備新設・更新の計画的な実施	A	当初の重点目標を達成しており、評価に値する。まずは目標達成につき、無事竣工も含め、感謝の意を表したい。お疲れ様でした！
	学務課	70	学納金の確実な収納。	A	重点目標を十分に達成しており、評価に値する。良く管理できていると思う。ただし、達成状況のイ)は具体的施策及び計画を写しただけになっている。
		71	入学定員の確保(中学90名、高校360名)	A	適切に行われている取り組みもあるが、具体的施策及び計画に対応する達成状況がみられない項目があり、重点目標をほぼ達成したとは評価できない。具体的な内容については高評価できる。定員確保を学務課の重点目標としている点、重いものを背負っている感はある。中学校93名、高等学校369名と目標達成できたことは分掌・学年・教科を超えた学園の力を感じる。OBが親になった時、自分の子どもも入学させたいと思うような取り組みを続けてほしい。
		72	特待・奨学金制度の検討	B	概ね評価できる。継続中の取り組みも見られたため、B評価とした。
(地歴社公民)	国語	13	自らの目標に向かって主体的に学習に取り組む生徒の育成	A	具体的施策及び計画において、国語科独自の内容が反映されていない点が物足りないと感じた。「個々の生徒のレベルや要求に応じたきめ細かい指導を各学年で協力して行う」、「共通試験の平均得点が、探究系140点、その他の系110点以上になることを目指す」は具体的施策というより重点目標である気がする。数値管理できているところは高評価になる。
		14	共通テストや新指導要領への対応を見据えた、効果的な指導方法の開発と授業改善	A	
	15	生徒の学ぶ意欲、主体的に学習に取り組む姿勢の育成	A	高1グローバルヒストリーでの活動を含め、各授業においてプレゼンテーションや探究的な学習展開が行われたことは評価できる。工夫が反映されたようで、次年度以降に継承しながら、目標達成を維持できると大いに評価できる。「SDGsを含めて現代社会の諸課題を意識するような授業実践を行うことができた」という評価は、地歴公民科に対する期待に応えてくれているものと感じる。	
		16	新入試や新指導要領に対応した授業の改善		A
		17	大学入試に対応できる学力の育成		A
	数学	18	自ら学ぶ意識を持ち、主体的に学習に取り組む生徒を育成する。(指導)	A	入試において点数の差が大きい教科の一つであり、苦手なため国公立大学受験を断念せざるを得ない生徒もいるのではと、推察する。そのような中で結果を出しているご指導に対し感服いたします。工夫は見られたものの、教科内でのすり合わせができていなかったのではないかと、少し不安が残る。次年度以降では同じ後悔が残らないように調整をお願いしたい。目標に対して、情報交換は良くできたようであるが、次年度以降に役立つような授業内容、指導方法についてはもう少し深掘りした施策が必要かと感じた。
		19	多様化する入試に対応できるような指導方法を研究する。(教材研究)	B	
20		教員の教科観の共有、授業内容・指導方法・評価方法を検討する場として教科部会を機能させる。(組織)	A		
理科	21	新学習指導要領に適した3観点評価法の実行および授業改善	A	3観点評価の詳しい内容が全く伝わらないので(想像ではテスト点数、授業姿勢、提出物を総合点数化)意見を述べることは難しいが各教科の困惑は想像できる。「3観点評価の材料とする学び点の評価基準を全科目で作成」という表現をみると自分の考える3観点評価とは違うのかと感じる。環境整備は生徒の安全などにも重要な事項なので、本年度実現できなかったことを今後どのように進めていくのか、検討してほしい。薬品などの備品管理、補充などご苦労もあるかと思う。達成状況が「ヒヤリハット」の領域だと思うので、教科担当のみならず問題視して改善していただくことを望む。	
	22	薬品の精査と管理徹底および理科室内の備品や消耗品の整理と点検	B		

教 科	英語	23	生徒の学力向上のため、組織的な指導体制をより強化する。	B	
		24	観点別評価における評価材料、評価方法及び評価基準を確立させる。	A	数値管理もできており、よく監理されている。指導体制について次年度以降では目標に達成できていなかった部分の引継ぎをしっかりと行っていただきたい。資格試験に関する重点目標は、進捗状況を見る限りほぼ完全に達成できている。結果は日々の計画実行努力を物語っている。
		25	実用英語検定など、4技能資格試験におけるスコアの伸長を図る。	A	
	保健体育	26	授業計画に沿って共通理解の中で、生徒の運動能力・体力向上に努めるとともに、挨拶・礼儀を重んじ協力性を高めさせる。	A	指導要領の実践と生徒にとって気分転換、ストレス発散も期待できる内容の授業。この二つの両立は、傍からすると大変ではないかと思う。協力体制がしっかりできており、内容が頼もしい限りである。次年度以降も上手に活用願う。「目標設定シートを活用し、目標を定め、課題を認識しながら日々の体育の授業に参加させることができた」こと、良い取り組みと思う。具体的な内容に高評価できる。地球環境保護の実践(節電、ごみの分別・減量など)が計画の中に入ったことに意義を感じた。生徒にも考えさせ、具体的な取り組みを実践していく(身近な環境教育)継続的取り組みを期待します。
		27	新体力テストで優良校に入れるよう授業内での基礎体力づくりを充実させる。	A	
		28	教科書上での内容を自らの生活に生かせるように知識の定着を図り、実際の行動に繋げる。	A	
	技術・家庭	29	授業を通して生活者としての問題意識を持たせ、広い視野に立ってものごとを見る姿勢を身につけさせる。	A	
		30	実技・実習を通して生活的自立のスキルを身につけ、協働の力を育む。また、生活に役立つ作品作りを通して、ものづくりの喜びを知らせる。	A	感染対策に留意する、衛生管理に努める、あるいは施設設備の制約のあるなか実習授業の工夫等、ご努力を感じる。目標は達成されていると思う。重点目標に対する具体的施策及び計画として、技術・家庭科独自の内容が反映されていない点が物足りないと感じた。環境整備は生徒の安全などにも重要な事項なので、本年度実現できなかったことを今後どのように進めていくのか、検討してほしい。次年度以降に反映すべく、更に新たな工夫を取り入れてほしい。
		31	生徒が充実して安全に実習、製作に取り組めるように実習室の環境を整える。	A	
	芸術	32	教科の本質を踏まえた授業により、生徒が生活や社会の中で芸術や芸術文化と豊かにかかわる資質・能力を育成する	A	No.32具体的施策及び計画のA)をどのような実践によって実現したのか興味を持った。「生活や社会において芸術教科が果たす役割について」を課題として作品や楽曲を味わいながら答えが一つとは限らない問いを考え仲間とともに追究し合う楽しさを味わわせることは、芸術科目の本質と考える。No.33具体的施策及び計画のA)の狙いが面白いと感じた。工夫が見られ、高評価につながる。
		33	教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせ、社会や文化と深くかかわる学習過程を創造する	A	推薦入試における評定平均値が重要な要素となっている現状を考えると、主要5教科以外の教科の評定を評価担当はどのように考えるか。「適切な評価基準を設定」には、難しい点もあるかと思う。
		34	適切な評価基準を設定し、単元や題材のねらいを明確にする	A	
情報	35	生徒一人一人の好奇心を高め社会のリーダーとしての人材育成に必要な情報機器を、表計算による統計処理や情報整理、プレゼンテーションによる表現の道具として適切に活用できるように育成する。	A	大事な目標になっている。その中で、十分評価できる内容だった。扱われている内容が、目標の一部に過ぎないのではないか。施策が堅苦しく、生徒が敬遠しがちなのではないかと推察する。評価もやや一方通行であるように思う。次年度以降は施策の見直しから工夫をされた方がよいかと思う。現代社会の実生活での利害にも直接関連する教科と考えられ、一般に考えられている以上に重要な授業。ご担当者のご指導に期待する。	
	36	情報の収集・処理・表現を通して広くコミュニケーション能力を養い情報社会に積極的に参画する態度を育てる。	B		
教務部	教務課	37	教務課から全教員への周知事項を徹底し、全教員が共通認識を持って教育活動を行ない、教育活動の円滑な推進を図る。	A	重点目標に対して適切な具体的施策及び計画が立てられており、それが確実に実施されているという点で、特筆すべき成果である。「教育課程および評価システムの変化に対応した成績処理マニュアル」の具体的な内容が不明ではあるが、(観点別評価は以前から採用していたと思う)重点目標として取り組むことは的確であると思う。
		38	教育活動が滞ることがないように配慮する。教務備品の管理を確実に行う。また、緑風塾・特別活動、学校行事について、学年部・学び支援課と連携し、先を見通しながら情報配信を行う。	A	重点目標に対して適切な具体的施策及び計画が立てられており、それが確実に実施されているという点で、十分に評価に値する。定期試験20日前の時間割配信、月行事の前月20日までの情報配信などの取り組みにより、教育活動の円滑な遂行ができたと思える。
		39	教務課内の協力体制の強化に加え、日課業務について情報管理課や研修課とも協力体制を築き、関連する業務を共有し協力体制を整える。	A	一部未達成の部分はあるものの、全体的に組織的な対応ができており、十分に評価に値する。「内部で共有している日課スケジュールを定期的に更新」について、その内容と必要度が不明である。部課長会議の時間を取る事が出来なかった反省点が、次年度に改善されることを期待する。
	情報管理課	40	静岡県「Society5.0での学びを支える先端技術活用教育ロードマップ」・法人の新高校整備計画・情報セキュリティ基本方針・インフラ整備提案依頼書などに従った情報システムを構築する。	A	重点目標に対応した具体的施策及び計画が立てられており、それが確実に実施されているという点で、十分に評価に値する。数値管理できており、評価できる。情報システムの構築はユーザーサイドに立った使いやすさを追求してほしい。
		41	教務課・研修課・進路課と連携し、各アプリケーションにおける操作、データ連携を高める。	A	具体的施策及び計画を達成できているのでA評価とした。ただし、重点目標に示されているデータ連携が具体的施策及び計画に含まれていない点には疑問がある。教務部という成績管理、学籍管理等が始めに浮かんでくるが、ソフトなどの開発により、進歩も著しいことと思う。アプリへの習熟を求めたい。
		42	教員のデジタル格差の是正と、データ処理技術の普及。	A	具体的施策及び計画が達成されているため、A評価と判定した。自己評価がBである理由が不明である。もし本来目指していたものが実現できていないということであれば、具体的施策及び計画を適切に設定してほしい。世代の異なる教員が混在する教育現場で、デジタルに関する格差は看過できない問題と思われる。欠席者の遠隔授業への対応に関するノウハウは他校との差別化の一つとして評価されるはず。データ処理の方法はある程度パターン化できるのではないかと。それを皆さんで共有できるようにしたい。
	43	教員の授業改善および授業力向上を図る。	B	取り組みを行っているのはわかるが、それがどの程度の成果を上げていたのかはわからない。既に取り組んでいられるかもしれないが、教員の授業力向上に関して、各教科内での研究授業、公開授業も効果が期待できる。オンラインによる個別対応を活用し、きめの細かい始動につなげてもらえれば。	

	研修課	44	校外研修・校内研修を通して、教員の資質能力の向上を図る。	A	何を行うかというレベルでの計画に対しては、十分に取り組みがなされている。ただし、何が得られたかというレベルでの目標が示されていないため、やっただけで終わってしまう恐れもある。研修への意欲が高まったことは大変良い表れである。数値管理できているので、高評価できると思う。負担のない範囲で資質向上を図ってほしい。
		45	教務部の各課と連携し、円滑な業務遂行を図る。	A	オンライン研修に関する達成状況の記述が不十分であるため、評価が困難である。目標・施策に対する内容は、良くできた評価につながっている。適切な取り組みと、期待した成果は得ることが出来たと思うが、部内で当然取り組むことであり、重点目標として掲げることに少し違和感を感じる。
生活部	生徒指導課	46	生徒の自主性、主体性の育成を目指した生徒指導。	A	昨年度意見でも述べたが、教員主導から生徒の自主性、主体性育成を考えた指導目標は、評価される。ただし、具体的事項にそれらの要素が若干薄い感じがする。
		47	学校生活における基本的な生活習慣の習得、自らルールを守る心づくり。	B	「朝礼での呼びかけ」、「風紀委員の各クラスでの呼びかけ活動」の内容や、「他校との情報交換を行い、生かすことができた」がどのような点でなのか、具体的でなく、評価することが難しい。SNSなどの利用に関しては迷惑をかけない、被害に遭わない心得を徹底させてほしい。事例を挙げて説明するのが有効であると思う。
	保健衛生課	48	明るい心を支える、健康な体を作るため、生徒自身に健康を意識させる。	A	具体的施策及び計画を実行していることは評価できる。ただし、ア)各種健康診断を実施することは当然ではないのか(資料作成・情報共有を行ったことは評価できる)。関係者の連携も図れ、よく監理されている。目標を達成するために行った事項は具体的であり細部、かつ多岐にわたっており、日常指導のきめ細やかさを感じる。養護教諭中心にした日頃の取り組みを思うと頭が下がる。
49		感染症を予防し、感染症に関連する対策を行う。	A	感染による問題は生じなかったようであるが、コロナウィルス感染者数等の数値が示されていないため、成果を評価しにくい。大変よく監理できている。社会全体の感染症に対する立ち向かい方が変化してきている中、対策を全校に徹底させ、理解と協力を求めていく取り組みを高く評価する。3年を経た新型コロナウイルス禍は出口が見えてきたと思うが、油断せずに対策徹底を。マスクは自己判断でも、状況に応じて、着けやすい環境は残すべきではないか。	
50		ストレスを受けた後などでも、自ら立ち上がろうとする生徒を温かく見守り、一人では立ち上がれないような生徒には手助けをする。	A	保健室が、生徒の精神面をも支える拠り所であってほしい。取り組みは、細部、かつ多岐にわたっており、日常指導のきめ細やかさを感じる。養護教諭中心にした日頃の取り組みにA以上の評価をする。難しい対応が多いと思うが、次年度以降にもつながるため、粘り強く継続願う。レジリエンスの強化に向け、取り組みをお願いしたい。	
分	安全整備課	51	学校施設の日常時・非常時における機能的な防災安全体制の構築。	A	重点目標に対応した具体的施策及び計画が立てられており、それが確実に実施されているという点で、十分に評価に値する。具体的な内容に高評価できる。
		52	定期点検や危険箇所への対処を万全なものとし、事故発生のないよう施設・設備の改善、保全を図る。	A	具体的施策及び計画のイ)に関しては早急な対応が望まれる。清掃活動を生徒が実践的、体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成する教育活動の一環と捉える視点が希薄な気がする。
掌	進路指導課	53	進路シラバスに基づいた進路指導計画を実施するとともに、進路指導室の活用を促す。	A	目標を達成するために行った具体的事項をみる限り、適切な取り組みと、期待した成果は得ることが出来たと思われる。具体的施策及び計画のイ)に関する達成状況が示されていないのではないかな。
		54	大学進学数値目標(国公立大学100、難関私立大学120)達成のために、補講を計画・実施するとともにテスト分析とフィードバックの仕組みを構築する。	A	重点目標に対応した具体的施策及び計画が立てられており、それが確実に実施されていることから、A評価と判断した。達成状況からは、自己評価がBである理由が読み取れなかった。国公立大学、難関私立大学の合格実績は、中学生にとりやはり志望校(併願校)選択の一番の要素である。同時に、合格者数という数字上の目標達成に固執せず、受験が生徒個々の目標達成の一過程ということも理解させて欲しい。
		55	大学入試改革に関する情報収集を行い、進路指導計画へ迅速に反映させる。	B	面接指導、小論文対策等、例年以上の取り組みにより、国公立大学、難関私立大学への高い合格実績を今年度もあげており、指導の的確さがうかがえる。具体的施策及び計画のイ)に関する達成状況が示されていないのではないかな。
進路部	学び支援課	56	SGTの外部講師講座は、毎年新しい講座を加えると同時に見直しを図り、体験を通じて各生徒の特技を増やしたり高めたりすることで、今後の生活で生かせる講座を提供できるようにする。	A	現状維持になりがちな取り組みに対して新規要素を取り入れようとしている点が評価できる。大変よく監理できている。毎年様々な学びの機会を企画していることは評価に値する。外部講師の招へいは、最新かつ学校だけでは学べない知識や教養、体験を学べるいい機会。幅広く活用していきたい。
		57	SGTの講座(外部講師と内部講師の両方)の広報活動を工夫し、SGTの参加率を高める。	A	取り組み自体はA評価に値する。ただ、参加率を評価指標としていることについては、潜在的な希望者が多いのに参加者が少ないのであれば問題だが、希望者の少ないテーマに対しても講座を開講していると考えれば参加率が低いことは逆に評価できるのではないかな。部活との共同開催を試行実施し、部活の時間を活用してSGTに参加できるようにしたことなどは、前向きな視点からの展開であり、評価できる。
		58	分掌組織として機能するように、分掌内や関連する分掌外の組織との連携を図る。	B	だいぶ浸透されていると思われるので、本目標項目は外してもよい時期である。施策内容の評価は十分問題ない。具体的施策及び計画のイ)ウ)に関する達成状況が示されていないのではないかな。
総務管理課	総務管理課	59	入学式、始業・終業式、開校記念式・講演、芸術鑑賞、体験入学、入試説明会などの行事を丁寧に遂行する。	A	重点目標に対応した具体的施策及び計画が立てられ実施されていることから、A評価と判断した。なお、総務管理課の達成状況の記述は3項目とも過剰ではないか(目標や具体的施策及び計画も)。行事は在校生活の大事な思い出であり、それぞれの式典などでの工夫、また開校記念式典での講師、上野千鶴子氏を招かれたこと、課として様々な制約もあるであろう中、ご努力ご苦労が窺える。
		60	PTAや同窓会などの活動を通じ、ご縁を結び、絆を深めるとともに、良質な文化資本を蓄積する。	A	ポジティブな取組が素晴らしい。担当者のわくわく感が伝わってくる。卒業生の母校に対する満足度は、次の世代につながることを考えたとき、PTAや同窓会などの活動は重要な役割を持っている。また、教育機関としての理念にたち学校、教師が望み求めている事と生徒が望み求めている事をいかにすり合わせていくか難しいことではあるが、取り組んでいかなければならないことだと思う。同窓会活動は、OBが自分の子や孫を入学させようと思う動機付けにもなる。より活性化させてほしい。具体的施策及び計画のイ)に関する達成状況が示されていないのではないかな。
		61	仕事を分担しながら進め、仕事を通じて結ばれる方々のそれぞれの思いやご苦労に触れ、また仕事の意味合いなどに対する理解を深める契機となるよう心掛ける。	A	具体的な内容に高評価できる。今後も「つながり」を大切にしていきたい。

総務管理部	図書課	62	読書リテラシー及び資料活用のための情報リテラシーを育成する。	A	青年期の人格育成に影響を持つであろう読書。また、間接的ではあるが学力定着とも関連がある読書。図書館利用率(学年別、系統別、男女別、クラス別など)を調査、公表して行くということも活性化につながると思う。 読書を習慣づけ、ただ読んだ冊数を伸ばすだけでなく、例えばテーマを持って集中的に読むことも大事である。例えば、今年の大河ドラマは徳川家康だからと、家康や今川家など幅広い本を集めたコーナーを特設してみるのも動機付けになる。 図書館利用指導として、ア)は(イ)も?)実施するのが当たり前であり、具体的施策及び計画に含めるのには違和感がある。
		63	生徒図書委員会活動を支援する。	A	重点目標達成のために行った具体的事項は、的確であり、取り組みの真剣さを感じる。生徒の委員会にはほかにどのようなものがあるだろうか。他の委員会活動も活性化してほしいものである。おおよそ満足のいく取り組みだと思われる。
		64	図書館利用活性化のための環境整備と広報活動を充実させ、調べ学習における図書館利用や家庭での読書推進をはかる。	A	具体的な内容で、素晴らしい活動であり、次年度以降も継続したい。図書館が教育機関として学校、教師が望み求めている本と生徒が読みたい本、魅力ある本の両方をいかに組み合わせ揃えていくか、難しいことではあるが、取り組んでいかなければならない。達成状況のア)に関しては、利用状況の記述が欲しい。
	国際交流課	65	コロナ禍の中ではあるが、国際交流プログラムを活性化させ、生徒に様々な機会を提供する。	A	取り組み自体は適切に行われているが、具体的施策及び計画と達成状況とが合っていない。具体的な内容に高評価できる。コロナも落ち着きを見せ始め、次年度様々な取組が可能となりそうである。新型コロナ禍の出口を見越した、次の対応も必要になる。
		66	中・長期留学生の受け入れの検討。特にウクライナ避難民の受け入れについては積極的に検討する。	B	異文化理解、多文化共生などの点から国際交流への取り組みは意義がある。今年度重点目標「特にウクライナ避難民の受け入れ」を掲げたことも教育的意義を感じる。時代迎合的な目標であった感否めないが、ウクライナの子どもたちの受け入れは賛同する。自由を求めて戦うウクライナを支援するばかりでなく、次代を担う日本の子どもたちにも平和の大切さや自由の尊さを実感させ、争いや戦争は避けなければならないことを理解してもらえと思う。
		67	スケジュールの視覚化と業務の共有。	A	具体的施策及び計画は実施されていることから、A評価と判断した。達成状況からは、自己評価がBである理由が読み取れなかった。 「スケジュールの視覚化」が情報のメール送付ということを指しているのかどうかはわからないが、取り組みについて丁寧な説明が欲しかった。